

## 令和元年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 永井 誠

取組状況	
教育	<p>(英語Ⅲ、Ⅳ) 1. リーディング指導において「SV分析」活動を実施し、英語長文における「意味の骨組み」を理解させた。2. リーディング指導において「キーセンテンス把握」活動を実施し、文章としての要点を取るトレーニングを行った。3. TOEIC指導において「SVリスニング」活動を実施し、全文を聴くのではなくポイント的に必要情報を取るトレーニングを行った。</p> <p>(英語Ⅳ) 1. 英文ライティングにおいて、進歩が著しい機械翻訳の限界を理解させ、自分の英語力で補いながら上手くそれを活用する方法を指導した。</p>
研究	<p>1. 日本人学習者にとって最も習得困難な文法項目の一つである「仮定法」に関して、それに対する認知的アプローチを継続的に研究している。昨年度、一般的に「仮定法過去」「仮定法過去完了」の後に「その他の仮定法」として扱われる「wish構文」「as if構文」への認知的教授法を提案したが、今年度はその効果を実験によって検証した。次年度にその検証結果を発表する予定。</p>
社会貢献	<p>1. 「英語教育新発想」というテーマを教員シーズ集に掲載し、技術相談に応じる体制を整えた。</p> <p>2. 「コミュニケーションのための英文法」というテーマを掲げ、出前・受け入れ授業に応じる体制を整えた。</p>